



<https://www.yokohama-tubasa.org>

発行元：認定NPO法人 よこはま成年後見つばさ
〒240-0066 横浜市保土ヶ谷区釜台町5-5
ルネ上星川5-202
tel&fax 045-744-5600
mail: info@yokohama-tubasa.org

つばさの法人後見は「私らしく」を手助けします

Contents

- 認定NPO更新！ p 1
 - ウィング研修レポート
 - 後見人担当者のつばさき P 2
- つばさの新年会 これからの予定

認定NPO更新！

認定NPOとは

2025年度つばさは認定NPOの更新を迎えました。
11月28日には横浜市市民局市民協働推進課からの調査、ヒアリングがありました。会計処理は適切に行われており、寄付者名簿等の書類もよく整理されているとの講評でした。ボランティアに支えられるNPO法人も多い中でつばさは運営面でも安定しており継続性につながると評価を受けました。

会員、担当者の皆さまの日々の活動や多くの皆さまの寄付のおかげで更新することが出来ました。

今後成年後見制度は大きな変化を迎えます。長く活動を継続していきますよう今後ともご協力をお願いします。



市民局からのヒアリング

認定NPOとは組織運営や事業活動が適正で高い公益性を認められたNPO法人です。寄付者は税法上の優遇措置が適用され社会的な信用を得られます。5年ごとに更新手続きがあります。運営組織及び経理が適切であることや3,000円以上の寄付者が年平均100人以上いること等の基準があります。



「成年後見制度を理解する 入門編」が出来ました

齋藤聡子副代表理事が夢21で支援者向けに研修を行った時のものを編集しました。今後法人後見専門員養成講座などで活用していきます。



齋藤聡子副代表理事 地域活動ホームサポートセンター連でも研修

計画相談室 ウィング研修 レポート

2月12日研修会3回目「知的障害のある人とのかわり大切なこと」を実施しました。知的障害の方を理解するための基礎的な知識、利用者の言語や非言語（動作や表情）をどう受け止め、汲み取っていくのか（なぞときのコツ）等、支援者として貴重な気づきを得られる内容でした。今回はつばさの担当者の方々にも参加を呼びかけました。

計画相談室ウィングでは、昨年度から東海大学文化社会学部心理・社会学科准教授 中島由宇先生をお招きし研修会を行なっています。



参加された担当者からの質問にも答えていただき学びのある研修となりました。

養成講座その後

2025年度の法人後見専門員養成講座が終了し7人の担当者をつばさの仲間として迎えました。順次マッチングを行い新規の受任者として、また前任者からの交代で活動を開始していただいています。



つばさの新年会2026



春を思わせるような暖かい1月17日、つばさの新年会をにぎやかに行いました。いつもの丸山先生の音楽療法、スペシャルゲストによる大道芸の披露、ボッチャ大会、おいしいドーナツで新年をお祝いしました。支援者の皆さん、スタッフ合わせて総勢40名の参加でした。



いつも楽しい
丸山先生の音楽療法♥
珍しい楽器を奏でたり
歌ったり！



ボッチャ
接戦が繰り広げ
られます



スペシャルゲスト
湘南大道芸の
お二人♥



これからの予定



つばさのお花見

2026年4月4日(土)

13:30~15:30

@星川地域ケアプラザ多目的ホール

大道芸とボッチャ大会！

ご参加の方は
3月31日ごろま
でに申し込みを
お願いします！

お手伝いいた
ける方も大歓迎！

5月16日(土)13:30~16:00

つばさ通常総会@星川地域ケアプラザ
多目的ホール



後見人 担当者の つぶやきNo.5

Bさんはグループホームで生活、外出が大好きな方でした。年に数回のつばさのイベントもいつも楽しみにされていました。そして何より気遣い・心遣いの素晴らしい方で、私は彼女の言葉に幾度も癒されました。面会のたびに「遠くから来て大変だね。」とねぎらって下さり、冬には「それじゃ寒いからこれ持っていきなよ。」と自分が編んだマフラーをくださいました。

担当になって約5年、時々外出しながら楽しい面会をしてきましたが、昨年2月、Bさんに悪性腫瘍が見つかり、入院・手術となりました。私事ですが、入院前主治医の説明時間中に弟から携帯に母が体調不良という留守電があり、主治医説明後に待合室へ出たときに、私も焦ってグループホームの職員に一言「母が体調不良だけど大丈夫」と言ってしまうと。Bさんの手術翌日にお見舞いに行きベッドに横たわるBさんに声をかけると、Bさんは開口一番「ねえ、お母さんは大丈夫なの？」と言いました。え！私がグループホーム職員にサラッと一言を覚えていて、予定よりだいぶ長くかかった手術後に自分のことよりそんな言葉が出てくるの？私はBさんの人間力に圧倒されました。1か月の入院を経て退院後はまたグループホームでの面会や外出を再開しましたが、Bさんの腫瘍は進行が早くだんだん痛みが強くなり11月に再入院、12月からは緩和ケア病棟入院になりました。

Bさんがどの程度腫瘍や死を理解していたかはわかりませんが、「もうお花見行けないね。」と自分がつばさのイベントに参加できない状態であることは感じていたようです。Bさんは1月にご逝去されました。「Bさん、優しい言葉をたくさんありがとう。お出かけ、楽しかったね。」(N)

つぶやき募集！



「担当者の方からのつぶやき」大募集！

後見業務をしていてこんないいことがあった、大変だった、困った、こんな工夫で切り抜けた等々。他の方に教えていただけませんか。同じようなことで困っている担当者もいるかもしれません。ちょっとしたエピソード、いい話、お待ちしております。

編集後記



つばさの窓が変わりました！窓が大きく明るいつばさ事務所ですが夏の暑さはとても厳しいものがあります。事務所の環境整備のため、木下財団からの助成金を受けて窓に遮熱フィルムを張ることが出来ました。季節は変わってしまいましたが外からの光が穏やかになったことがわかります。夏が少しだけ楽しみになりました。(事務局)